

Stand UP!

2015年8月24日

発行責任者 佐久間 晃史

NO. 5

編集責任者 情 宣 部

戦争法案に反対の声を挙げよう!!

安倍政権は、昨年7月1日に集団的自衛権の閣議決定をして以降、12月には特定秘密保護法を施行し、更には今年5月14日に安全保障関連法案の閣議決定がされました。以降、衆議院特別委員会で安全保障関連法案の集中審議が行われましたが、その中で安倍総理は答弁をする中で、自らが国民に法案の危険性と不安感を漂わし、反対する声が高まっています。また、6月4日の衆院憲法審査会で、「安全保障関連法案」について自民党が推薦した3人の憲法学者からは「違憲」と表明され、本質が明らかになってきています。

そして衆議院特別委員会の審議で安全保障関連法案の説明責任を果たさないまま安倍政権は、7月15日審議には十分時間を費やしたとして国民の反対意見を無視して強行採決に踏み切りました。翌日7月16日は衆議院本会議を開き、圧倒的な与党議員の数の力で野党の反対を押し切り法案を通過させています。

戦後70年、今一度戦争の悲惨さや命の尊さが天皇や戦争体験者から語られる中で、安倍政権は肅々と積極的平和主義をうそぶき、軍事化へ突き進み参議院の審議も時間を使い擦り抜けようとしています。この姿勢は国民を軽視し、今年4月に行った日米首脳会談で米国政府に誓った「日本はこれから従米軍主義国になります。日本の自衛隊は米軍を守るため命をかけます。米国政府の言うとおりに行動します。そのため2015年夏までに安保法制法案を成立させます」(アーミテージ発言より)の約束を果たすためです。その事も踏まえ、5月下旬には陸海空自衛隊の一体運用を担う統合幕僚監部が安全保障関連法案の成立を前提に「新たな部隊運用に関する資料」を作成しています。

また、今月14日に発表した安倍首相談話について歴代の村山・河野元総理も否定しています。

皆さん! この危険な政権にNOを突き付けよう!!

8.30国会10万人・全国100万人行動

日時 8月30日(日)14:00~

場所 国会議事堂周辺 ほか

*全国各地でも同時行動が取り組まれています。(http://sogakari.com)を参照して下さい。

戦争法案廃案! 安倍政権退陣!